印旛明誠高の学級増提案へ

指定廃棄物最終処分場問題
『オール千葉で解決を』

滝田議員　現在、手賀沼終末下水処理場のほか、県内各地で保管されている８千ベクレルを超えるごみ焼却灰等の指定廃棄物を処理するためには、国による一刻も早い最終処分場の確保が必要。

そこでうかがうが、指定廃棄物最終処分場候補地選定に係る検討状況はどうなっているのか。

環境生活部長　本年１月９日に、国主催の第３回市町村長会議が開催され、設置県に共通する基本的な候補地選定手順等について、議論がなされたところです。

現在、国では、市町村長会議における意見等を参考に、本県の地域特性に配慮した、千葉県における候補地の選定方法について、鋭意、検討を進めており、次回の市町村長会議で示したいとしています。

要望　**滝田議員**　指定廃棄物の処理に係る問題は、オール千葉県で一致団結し、叡智を結集して解決しなければならず、県当局においても、引き続き、責任のある対応を行っていただくよう強く要望する。

印西市で放射線健康調査を実施

高田純・札幌医大教授とともに
手賀沼下水処理場の放射線衛生調査を実施

再質問　**滝田議員**　指定廃棄物最終処分場設置に関しては、さまざまな情報が氾濫する中で、今後とも正しい知識を県民に提供していくことが必要。

私としても、県の一時保管事業が行なわれている印西市発作地区住民に正しい情報を提供するため、昨年12月、放射線防護学の国際的権威、高田純・札幌医科大学教授を地元に招き、乳幼児を含む児童・生徒のヨウ素及びセシウムの放射線健康調査、並びに一時保管地区の衛生調査、そして市民向けの放射線セミナーを実施した。

地元の方々から県の一時保管事業についても大変ご納得いただき、信頼関係も深まったと思う。

県が本年１月25日に流山市で開催した「放射線に関する講習会」を傍聴したところ、専門家が科学的見地から、分かりやすい講演をしており、大変有意義と感じた。

県民が放射線に関する理解を深め、放射性物質問題に対し、冷静に判断できるよう、今後も講習会を継続して開催すべきと思うがどうか。

防災危機管理部長　「放射線に関する講習会」は、平成24年度から合計13回開催しております。

講習会に参加された皆様からは、分かりやすく、よく理解できたとの評価を得ており、継続的な開催を求める声も多数寄せられております。

県といたしましても、県民の方々に、放射線に関する理解をより深めていただけるよう、引き続き講習会を開催してまいりたいと思っています。

北総線問題　耐震化支援スキームを議論

滝田議員　北総線の運賃問題についてうかがう。県は、補助金の継続についてどう認識しているのか。

総合企画部長　運賃値下げによって、最も利益を受けている２市が、平成27年度以降補助金を支出しないことを表明したことで、現行の値下げスキームによる補助金支出は、県としても大変困難な状況になったと考えています。

このままですと、北総鉄道の主張と相容れず、運賃が元に戻る恐れも大きくなってきたものと認識しています。

滝田議員　運賃値上げを回避するためには、利用客増加に寄与する沿線の活性化策や喫緊の課題である耐震化対策など、運賃値下げ補助金に代わりうる相当の代替案を印西・白井の両市長が示す必要があると思うがどうか。

総合企画部長　印西市と白井市が、現行の運賃値下げスキームに異を唱えたものであり、両市が中心となって新たな方策を示す必要があると考えています。

このため、県としては、利用者の利便性を最優先に考え、関係者の理解が得られるような検討を、現在両市に対して求めているところです。

再質問　**滝田議員**　今後、印西・白井両市が沿線市を取りまとめ、一定の代替案を示した場合には、県として取り組む考えはあるのか。

また、北総鉄道が代替案を受け入れない場合には、運賃問題はどのように展開していくのか

総合企画部長　これまでも、北総鉄道と真摯に話し合う環境が整えば、県としても出来る限り協力することを重ねて申し上げてきており、議員ご提案のような条件が整えば、関係者間の協議の開催など沿線市からの要請についても応じる考えはあります。

もとより、上限運賃の範囲内でどのように運賃を決定するかは北総鉄道側の経営判断ではありますが、市側の提案・協議に真摯に対応していただきたいと考えています。

太田昭宏・国土交通大臣への要望活動

県道柏・印西線浦部地先
通学路、歩道整備に着手

滝田議員　県道柏・印西線印西市浦部地先の歩道整備についてどのように考えているのか。

県土整備部長　当該地区は、小学校の通学路となっているところであるが、歩道が未整備で路肩も狭く、歩行者の安全を確保するため、７８０メートルの区間について、今年度より水路用地を利用した歩道の整備に着手したところです。

現在、設計を進めており、来年度には、地元関係者と調整を図りながら、工事を実施してまいります。

印旛明誠高校
教育環境整備へ県教委の支援を

滝田議員　県立印旛明誠高校についてうかがう。教育活動の成果など、現状をどう捉えているか。

教育長　印旛明誠高校は、多様な選択科目の開設や少人数による授業の展開など、単位制高校の良さを生かした丁寧な学習指導を行うとともに、地元大学との連携による講義や充実した進路指導により、広い視野や知識を身に付けた国際的に通用する人材の育成に力を入れているところです。

滝田議員　更なる発展に向けて、県教育委員会としてどのように支援していくのか。

教育長　印旛明誠高校が地域の将来を担うリーダーを育成する学校として更なる発展を遂げるよう、地域の方々の御協力も得ながら、教育内容の充実や教育環境の整備に努めるなど、引き続き支援していきます。

要望　**滝田議員**　印旛明誠高校は、印西市にとって極めて重要な学校である。同校が、地域の中心校として学問、勉学はもとより、部活動などあらゆる教育活動の場面において、子どもたちが互いに切磋琢磨できる環境を整え、より活力ある教育活動が展開されるよう、県教育委員会として全面的な支援をお願いしたい。